

えにわ 感染対策チームだより Vol.15

令和4年10月26日発行

医療・介護
従事者向け

コロナとインフルエンザ ～同時流行に備えて～

今年は流行る??インフルエンザの話

2020年～2021年では、インフルエンザウイルス感染症は流行しませんでした。これは、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、各国で入国制限が行われたためです。インフルエンザウイルスが日本国内に持ち込まれる機会が少なく、また、国内でもマスク着用などの感染対策が行われていたため大きな流行はありませんでした。しかし、2022年は『with コロナ』の考え方も定着し、積極的に国内外の移動が再開されるようになってきているため、2年ぶりの大流行が懸念されています。

コロナ・インフルエンザの同時流行に備えて

1) コロナとインフルエンザの違い

	新型コロナウイルス	インフルエンザウイルス
特徴 	<ul style="list-style-type: none"> SARS-CoV-2による呼吸器感染症。 多くの変異株がある。 飛沫物によりエアロゾル感染する。 	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザウイルスによる呼吸器感染症。 A型で変異株が見られる 飛沫物により飛沫感染する。
感染可能期間*	始期	発症の2日前から
	終期	発症後7日～10日迄
症状	発熱、咳、咽頭痛、倦怠感 など	発熱、咳、鼻汁、倦怠感 など
治療 	<ul style="list-style-type: none"> 対症療法が基本 重症化リスクのある者を対象に抗ウイルス薬を投薬 	<ul style="list-style-type: none"> 対症療法 抗インフルエンザ薬を発症後48時間以内に投薬
ワクチン接種	<ul style="list-style-type: none"> 重症化予防効果がある 3回以上接種で入院予防効果がある 	<ul style="list-style-type: none"> 重症化予防効果がある シーズンごとに接種が必要

*『感染可能期間』とは、ウイルスを排出しており、他者に感染させる可能性のある期間のこと。

2) 感染対策のポイント

コロナとインフルエンザ、どちらに感染しているかは見た目では分かりません。誰が、いつ、何に感染していても、自身や家族、職場の仲間や患者・利用者を守るように対策が必要です。

① 手指衛生



- 手洗いまたは手指消毒は、適切なタイミングで行いましょう。
- 特に、食事の前や目を擦る前など、自分の目・鼻・口に触れる前には必ず手指をキレイにしましょう。

② マスクの着用



- マスクは布製よりも不織布製のマスクを選びましょう。
- 鼻から口まで顔を広くマスクで覆います。

注意 鼻の穴や口がマスクから出ていると、感染予防に効果がありません。

③ 換気と環境清掃



- 換気の悪い環境ではエアロゾル感染を引き起こす可能性があります。定期的に換気をしましょう。
- ドアノブやデスク、パソコンのキーボードなど、よく触れる場所は、除菌クロス等で1日1回以上清拭しましょう。

④ 日々の健康管理



- 発熱または感冒症状があれば、出勤・登校等せず発熱外来等を受診します。
- コロナやインフルエンザ検査が陰性であっても、解熱後2日間程度は自宅で療養しましょう。

文責：感染管理認定看護師 嶋貴祐子



コロナとインフルエンザが同時流行しても、やることはコロナ対策と同じってことね!!

えにわ感染対策チーム **こびりんず**

代表 樋口 秋緒 (恵み野訪問看護ステーション「はあと」)
問合せ先 連携センターりんく (恵庭市在宅医療・介護連携支援センター)
☎ 0123-36-0101

インスタ登録
お願いします!



ENIWAHOBIRINZU